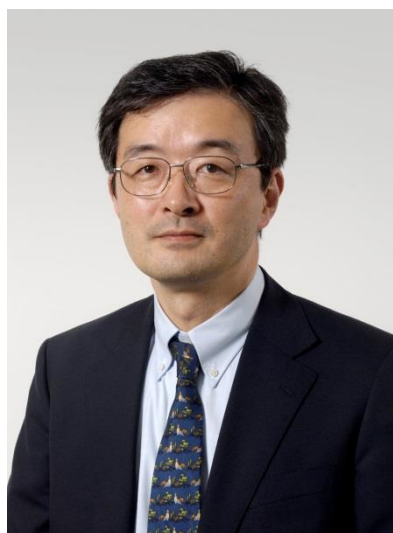


シリーズ「今、哀しみの最前線で」

愛する人をなくして

遺族外来の現場から

永年生活を共にしてきた家族を失うことは、そのときの悲しみだけではなく、直後からあるいは年月を経て心の変調をもたらします。終末期の本人だけではなく、家族がこれでどう向き合うかをご一緒に考えます。



講師 大西 秀樹 さん

患者家族のための「家族外来」、そして見送った家族のための「遺族外来」。これらの働きに先駆的に取り組み、人々と出会ってこられた大西さんのお話を聞きます。

大西秀樹（おにし ひでき） 1986年 横浜市立大学医学部卒業。藤沢病院精神科、横浜市立大学精神科講師、神奈川県立がんセンター精神科部長を経て、2006年 埼玉医科大学精神腫瘍科教授、2007年 埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍科教授。専門領域は精神腫瘍学、死生学。



2013年11月16日（土） 13:00～15:00

於 日本キリスト教会館6階 フォークトルーム（新宿区西早稲田2-3-18）

東京メトロ東西線 早稲田駅2または3B出口徒歩5分

参加費 1000円（学生500円）

お申込み・お問い合わせ

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー

関東活動センター

Tel: 03-3207-6198 Email: info@academy-tokyo.com

URL: <http://www.academy-tokyo.com/>

